倫理，政治・経済

（解答番号 1 ～ 32 ）

第１問　高校生Ａ，Ｂ，先生が交わした次の会話を読み，後の問い（**問１** ～ **４**）に答えよ。なお，会話と問いのＡ，Ｂ，先生は各々全て同じ人物である。（配点　12）

Ａ：この前，道を歩いていたら，お年寄りが道端にへたり込んでいて，どこか様子が変だったんだよね。声をかけた方がいいのかなって思ったんだけど，迷ってるうちに別の人が声をかけたんだ。

Ｂ：まあ，よいことをⓐ実践しようとしてもなかなか難しいよね。

Ａ：でも，いつもそうなんだ。ⓑ結果はどうあれ，よいと思ったなら行動すべきだって思っているんだけど，その場になると行動できなくて…。

Ｂ：確かに，その場面でやるべきことはやれなかったかもしれないけど，思っただけでも立派だと思うよ。自分のことしか考えていない人もいるのに。

Ａ：うーん。でも，行動できる人とは違うよ。どうして私は行動できなかったのかな…。

Ｂ：モヤモヤしてるねえ。あ，倫理の授業が始まるね。そういえば今日は，心と行為についての内容じゃなかったっけ？

先生：おはようございます。今日の授業は「心と行為」というテーマに沿って様々な宗教や思想の資料を読んでいきます。色々な考え方に触れて，自分の身近な事柄についても考えてみましょう。

問 1 下線部ⓐに関して，次の**ア**～**ウ**は，様々な宗教や思想における実践についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 1

ア イエスは，律法の形式的遵守を越えて，その精神の実践を重んじ，律法を守ることができない徴税人や罪人と食卓を共にしなかった。

イ 大乗仏教では，出家信者と在家信者の区別を超えて，ともに他者の救済を目指し，布施などの修行徳目を実践すべきだと主張された。

ウ 朱熹(朱子)は，本性を発揮させるための実践として，もっぱら自分の内なる理を窮(きわ)め，私欲を抑制して気質の性につつしみ従うべきだと説いた。

①	ア 正	イ 正	ウ 正	②	ア 正	イ 正	ウ 誤
③	ア 正	イ 誤	ウ 正	④	ア 正	イ 誤	ウ 誤
⑤	ア 誤	イ 正	ウ 正	⑥	ア 誤	イ 正	ウ 誤
⑦	ア 誤	イ 誤	ウ 正	⑧	ア 誤	イ 誤	ウ 誤

問 2 下線部ⓑに関連して，様々な宗教や思想における行為とその結果についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 2

① パウロは劇的な回心を体験した後には，律法を忠実に実行したとしても，その結果得られるのは罪の自覚のみであると考えるようになった。

② ウパニシャッド哲学では，現世における行為の結果，現世の境遇は変化していくが，それは来世の境遇に影響を及ぼすものではないと考えられた。

③ イスラームにおいては，終末が来ると人間は現世の行いに基づいて裁かれると考えられており，最後の審判を行うのはムハンマドとされている。

④ ソクラテスは，日々の対話の活動の結果，善美の事柄について，人知を超えた真理を獲得したと主張した。

問 3　次の**資料**は，授業で先生が示したものである。Aと先生が交わした後の会話を読み，会話中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。［ 3 ］

> **資料**　プラトン『プロタゴラス』におけるソクラテスの発言
>
> 知識とは立派なものであり，人間を支配する力を持つのであって，仮に人が善きことと悪(あ)しきことを知ったなら，他の何かに左右されて知識が命じる以外のことをなすなどということは決してない。……しかし，多くの人が主張するには，最善のことを知りながら，そうしようとせずに他のことをする人が沢山いるというのだ。

A　：**資料**におけるソクラテスの主張は，［ **a** ］ということです。

先生：そして，授業でも紹介したように彼の弟子のプラトンは，行為を導く原理としての魂を，［ **b** ］からなるとしました。例えば，なすべき行為をなさなかったといった過ちは，魂の部分間の調和が取れていないこととして説明することができます。

① **a**　多くの人は，知識が行為に及ぼす力を過信している
　b　理性・気概・欲望

② **a**　善いことを本当に知っているならば，人は善い行為をとる
　b　理性・信仰・欲望

③ **a**　最善のことを知りながら，それを行わないという事態があり得る
　b　理性・気概・欲望

④ **a**　知というものは，本来その所有者の行為を必然的に決定する力を持つ
　b　理性・信仰・欲望

⑤ **a**　最善のことを知りながら，それを行わないという事態はあり得ない
　b　理性・気概・欲望

⑥ **a**　知識以外の何らかの力が，知識よりもその人の行為を決定する
　b　理性・信仰・欲望

問 4　授業後にＡは図書館で次の**資料**を見付け，118 ページの会話を思い返した。**資料**の内容，および王陽明の思想を正しく踏まえたＡの説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 4

資料　王陽明『伝習録』より

知は心の本体であって，心は自然と(孝悌や惻隠を)知ることができる。……これ(心の本体である知の自然なはたらき)が良知であって，外に求められる必要のないものである。……もし心の良知に妨げがなく，それを充実・発現させることができたなら，それが致知である。

……喜怒哀懼(おそ)愛悪欲を七情と言い，これらは人の心に当然あるべきものである。……七情がもし自然の流れに従っているならば，これらもみな良知のはたらきであって，善悪で区別すべきではない。……ただ，七情に執着してはいけない。執着するのは私欲であり，良知の妨げである。

① **資料**では，良知は心によって知覚される対象に存在するものとされています。王陽明の致良知の思想を踏まえると，私がお年寄りに声をかけられなかったのは，まだ良知への知覚が不十分であったということです。

② **資料**では，七情に執着しても良知が妨げられることはないとされています。王陽明の致良知の思想を踏まえると，私がお年寄りに声をかけようと思ったのは，心の良知のはたらきによるものだったということです。

③ **資料**では，心の良知を完全に発現できたならそれが致知だとされています。王陽明の知行合一の思想を踏まえると，私が実際には声をかけなくとも，かけようと思うことで行為は成立していたということです。

④ **資料**では，七情への執着が良知を発揮することを妨げるとされています。王陽明の知行合一の思想を踏まえると，良知が妨げられていなければ，私はお年寄りに声をかけようという心のままに行動できたということです。

倫理，政治・経済

第 2 問　以下の**Ⅰ**・**Ⅱ**を読み，後の問い（**問 1** ～ **4**）に答えよ。なお，会話と問いのＣとＤは各々全て同じ人物である。（配点　12）

Ⅰ　高校生ＣとＤは，縁をめぐって次の会話を交わした。

Ｃ：この前の倫理の授業，覚えてる？　仏教の縁起の説明の中で，全てのものがつながり合って存在しているという話があったよね。

Ｄ：そうだね。ただ，日本で縁という場合には，人と人との出会いやつながりという意味で使われることが多いよね。

Ｃ：縁があるとかないとか，良縁とか悪縁とか，よく言われるね。日本人は，つながりや出会いという意味合いで，縁というものを考えてきたのかな。

Ｄ：そうかもしれないね。縁があっての出会いもあれば，縁が切れての別れもあるよね。昔の日本人は，そうした人の世のあり方にⓐ無常を感じていたと習ったのを覚えているよ。

Ｃ：人とのつながりといえば，私は，人間関係の理想的なあり方を説いたⓑ近世の思想の話が好きだな。人は，一人では生きられないでしょう。そういえば，今度の芸術鑑賞の授業では，親子の縁の話が出てくるそうだよ。

Ｄ：親子の縁かあ…。でも，近代になると，今度は個の自立，家からの独立が問われてくるわけだよね。気になってきたから，色々な文献を調べてみよう。

問 1　下線部ⓐに関して，次の**ア・イ**は，この世の無常を見つめた中世の人物についての説明であるが，それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 5

ア　各地を旅しながら人の世の無常を和歌に詠み，自身の寄る辺なく儚(はかな)い境地を自然の風景に重ねて表現した歌を歌集に残した。

イ　移り行く人の世や変わり行く自然の姿もともに無常であると捉え，だからこそ心動かされると，随筆の中で述べた。

① **ア**　兼好(吉田兼好)　**イ**　世阿弥
② **ア**　兼好(吉田兼好)　**イ**　西　行
③ **ア**　世阿弥　**イ**　兼好(吉田兼好)
④ **ア**　世阿弥　**イ**　西　行
⑤ **ア**　西　行　**イ**　兼好(吉田兼好)
⑥ **ア**　西　行　**イ**　世阿弥

問 2　下線部ⓑに関連して，中江藤樹についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 6

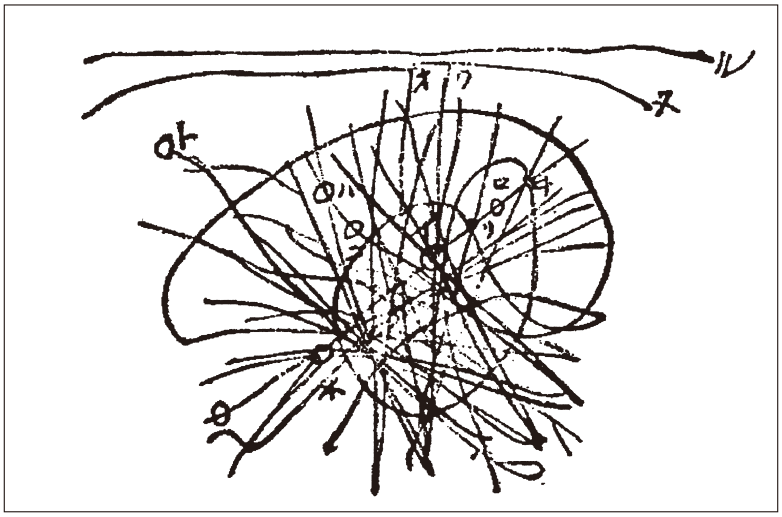
① 儒学者として，封建社会の身分や秩序を正当化する朱子学を固守する一方で，「誠信の交わり」を旨として朝鮮との善隣外交に尽力した。

② 儒学のみならず，神道や仏教も取り入れて，心を磨く学問を確立させて，正直や倹約に基づく商人の道徳思想を説いた。

③ 儒学者として，朱子学を表面的な形式に囚(とら)われていると批判し，時や場所や身分に応じた道徳の実践を説いた。

④ 修身中心であった従来の儒学に対して，安定した公の秩序の実現を目指した儒学を志して，礼楽刑政によって世の中を治めることを説いた。

Ⅱ　122 ページの会話の数日後，ＣとＤは，授業の中で先生から次の不思議な絵を見せてもらい，それについて後の会話を交わした。



先生：この絵は一見，落書きのように見えますが，これは「南方曼荼羅」と呼ばれ，神社の統廃合に反対したことで知られる南方熊楠が描いた世界の姿です。彼は，この絵のように，「前後左右上下，いずれの方からも道理や筋道が行き渡り，そのことがこの宇宙を成している」と述べています。

Ｃ：熊楠は道理や筋道が縦横無尽に展開するさまを描いたわけだけど，この絵を見ていると，世界は無数の糸でつながっているような感じがします。

先生：熊楠は，古い社や境内の森林を破壊すれば，貴重な生態系が崩れるとともに，その地域に住む人々の信仰心が薄れて伝統文化が衰退し，地域や©社会におけるつながりが失われると考えていました。

Ｄ：熊楠は，人と人とのつながりと共に，人と他の生き物や自然全体とのつながりに，広く目を向けていたのでしょうか。

Ｃ：なるほど。人は，社会だけでなく，自然ともつながっているのですね。そういう大きなつながりの中で，縁について考えていくと面白そうです。

問 3　下線部Ⓒに関連して，社会の問題を考えた人物についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 7

① 武者小路実篤は，人道的な理想主義を批判して，自然主義の立場から，あるがままの人間の内面の姿を描こうとした。

② 西光万吉は，「人間に光あれ」と訴えて，部落解放運動を指導し，差別のない世界を作り出そうと尽力した。

③ 河上肇は，人道主義の立場から貧困問題に取り組み，社会の改良を目指したが，国家への不信感から無政府主義的な直接行動を取るに至った。

④ 石川啄木は，貧困や病と闘いながら人間らしい生き方を実現するために，国家権力を肯定して国家に庇護（ひご）される道を求めた。

問 4 Dは学習のまとめとして改めて縁について考え，次の**レポート**を書いた。**レポート**の内容に合致する記述として最も適当なものを，次ページの①～④のうちから一つ選べ。 8

レポート

人生には色々な出会いや別れ，つながりや巡り合わせがある。そのような関わりを，日本人は縁と呼んできた。例えば，芸術鑑賞の授業では，親子の縁をテーマにした作品もあった。また「南方曼荼羅」の学習では，様々な線や渦巻模様は，縁によって万物はつながり合うというイメージを呼び起こしてくれた。

まず，縁には全体的なつながりという要素が重要になってくる。すると，偶然に思える出会いや出来事であっても，縁というものに気が付いていないから，それを私たちは偶然とみなすのかもしれない。しかし，人間を含めた，生きとし生けるものは，もともと縁によって皆つながり合っている。そう考えてみれば，全ての生き物は縁の結び目のような存在である。

このことを自覚できるのは，やはり人間だけであろうと私は考えを発展させてみた。自分が縁の結び目であることを知り，主体的に受け止めることができるのは，人間に感受性や認識の働きがあるからである。様々な出会いや別れを繰り返す世のあり方を無常と感じる考え方も日本の思想では見られる。無常だからこそ，縁によって生かされて生きるという感覚を大切にしてきたと言える。

そうした気付きにより，私たちの内に全ての生き物を含めた他者に対する責任の自覚が生まれてくる。つまり，この自覚は，縁によって生かされて生きることへの感謝の念だけではなく，自分自身もまたそのような縁を支え，結び付けるべき存在でもあることを，私たちに教えてくれるのである。そこから，縁に基づいた新たな生き方も可能になるのではないだろうか。

① 私たちは皆，いわば縁の網の目の中で生きているが，日本人は人と生き物の関係における縁のことは念頭になく，もっぱら人と人との縁だけについて思いを巡らせてきた。

② 人間を含めた全ての生き物は縁によって皆つながり合っているが，現実の中で経験される出会いや出来事そのものは全く偶然なものであるがゆえに，そこに縁の介在する余地はない。

③ 人間だけが縁の存在を自覚することができるが，そのことにより自らが生かされて生きるという実感が生まれ，また他者とのつながりを支えようとする主体性が得られる。

④ 私たちの内に生まれる他者への責任の自覚は，私たち自身もそのような縁を支え，結び付けるべきだと教えてくれるが，責任を負う範囲は人間社会に限られるものである。

倫理，政治・経済

第 3 問　次の文章を読み，後の問い（**問 1 ～ 4**）に答えよ。（配点　12）

かつてあるイギリスの首相は「社会なるものは存在しない。存在するのは個々の男と女であり，家族である」と語った。しかし，多様な人々が共に生きる場としての社会というものを本当に無視できるのだろうか。社会をめぐる近代の西洋思想をたどることを通じて，私たちにとって社会が持つ意味を考えてみよう。

社会への意識は，まずは人々が共存する秩序を自ら構築しようとするところから生まれた。ルネサンス期のエラスムスやトマス・モアらの著作に見られるように，中世末期から近世初頭にかけて，共に生きる場である社会の仕組みやルールを私物化することへの先鋭な批判が現れた。そうした批判は，17 世紀以降の絶対主義国家の成立の中で，国家との関係においてあるべき社会のルールを自ら定めようとする市民の思想の誕生へとつながっていくことになる。その後，ⓐ歴史を通じておのずと社会の秩序が生成してきたと主張した思想家もいた。だがヘーゲルはそこに現れる矛盾を鋭く批判し，社会のあるべき姿を模索した。

また，人々が時に貧しく困難な生を送っているとき，それを社会全体が対応すべき問題なのだと考える発想を生み出したのも，社会を論じた思想家たちだった。そうした発想は，19 世紀において，資本主義体制そのものがもたらす諸矛盾を鋭く批判する社会主義者をはじめとした，ⓑ社会の変革を志向する様々な思想家を生み出した。後のフェビアン協会の思想に見られる福祉国家の構想も，こうした社会問題への対応から生み出されている。

ⓒ社会は多様な人々が共存する場である。社会 society の語源となったラテン語 socius（ソキウス）は仲間を意味する言葉だが，そうした仲間の絆（きずな）を超えた包摂性を持つことによってこそ，社会は今あるような意味を獲得してきた。だがⓓ社会に多様な他者を包摂しようとする努力は，常に一定のモデルに沿って人々を画一化するというリスクと隣り合わせだったことは否定できない。しかし，仲間を超えて人々を結び付ける社会を作り出してきた歴史そのものが，他者と共に生きることへの人間の要求を証している。だからこそ，「他者と共に」の意味を常に新たに鍛え上げていくことが私たちに繰り延べられた課題なのである。

問 1　下線部ⓐに関して，次の文章はこうした思想家の代表であるヒュームの説明である。文章中の［ **a** ］～［ **c** ］に入る語句の組合せとして最も適当なものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。［ 9 ］

ヒュームは，社会の秩序は，歴史を通じて形成されてきた「黙約」へ人々が暗黙のうちに与える承諾に基づくと考えたが，私たちが事物について持つ知識も，私たちが［ **a** ］を通じて作り上げたものと考えた。例えば，炎に近づくと熱いという経験を繰り返したことから，炎が熱さをもたらすのだと，炎と熱さの間に［ **b** ］の関係を見て取るのも，［ **a** ］によるのである。こうした議論を展開したヒュームの立場は後に［ **c** ］と評価されることにもなった。

① **a** 理　性　**b** 帰　納　**c** 合理論
② **a** 理　性　**b** 演　繹　**c** 懐疑論
③ **a** 理　性　**b** 因　果　**c** 合理論
④ **a** 習　慣　**b** 帰　納　**c** 懐疑論
⑤ **a** 習　慣　**b** 演　繹　**c** 合理論
⑥ **a** 習　慣　**b** 因　果　**c** 懐疑論

問 2　下線部ⓑに関して，社会の改良を目指した思想家の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 10 ］

① サン＝シモンは，産業間の自由な競争により社会の発展を目指すべきだと考え，自由な競争の重要性を主張した。
② コントは，経験によっては予見し得ない社会のダイナミズムを重視し，そうしたダイナミズムによって社会を改良すべきだと主張した。
③ サン＝シモンは，国民の大多数を占めている製造業者や農民，商人などの産業者自身が運営する社会の建設を主張した。
④ コントは，人間の知識は，神学的段階から，実証的段階を経て，形而上学的段階へ至るという三つの段階をたどると主張した。

問 3　下線部ⓒに関して，次の**資料**は，多様な人々が集う場のあり方についてのハーバーマスの文章である。ハーバーマスの思想と**資料**の内容の説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 11

資料

かつての市民の文化は単なるイデオロギーではなかった。サロンやクラブ，読書会といった私的な領域での人々の議論は，生産と消費の循環に，つまりは生きるために必要なことを満たさなければならないという要求に直接服しておらず，むしろこうした生活の必要からの解放という意味において「ポリス的」性格を備えていたので，ここにおいて人間性という理念が成熟することができた。……それに反して，現代の文化を消費する公衆のレジャー活動は群居的雰囲気で行われ，討論を続ける必要もない。私的な領域で文化を習得する形式が失われるとともに，習得された内容について公共的にコミュニケーションをすることも失われる。

（『公共性の構造転換』より）

① 道具的理性の意義を説くハーバーマスは，**資料**では，かつての市民的文化は人々を生活の必要から解放することを意味したが，現代の文化は人々の人間性を成熟させないレジャー活動として行われていると論じている。

② システム合理性の意義を説くハーバーマスは，**資料**では，かつての小さなサロンなどでの議論と異なり，現代の群居的な文化の消費のあり方こそが人々の公的コミュニケーションを可能としたと論じている。

③ 対話的理性の意義を説くハーバーマスは，**資料**では，かつては生活の必要と結び付いた人々の切実な議論が市民的文化を成立させていたが，公衆のレジャー活動にその切実さはないと論じている。

④ 市民的公共性の意義を説くハーバーマスは，**資料**では，かつての市民的文化は私的領域での議論を通じて培われたが，人々が文化をただ群居的に消費する立場になってそうした議論は失われたと論じている。

問 4 下線部ⓓに関して，次の会話は，128 ページの文章を読んで，高校生Ｅと先生が交わしたものである。会話の趣旨に合致する記述として最も適当なものを，次ページの①～④のうちから一つ選べ。 12

Ｅ ：この文章の「人々を画一化するというリスク」って何でしょう。「他者と共に」の意味を鍛え上げることが課題とは，どういうことでしょうか。

先生：例えば，誰もが等しく教育を保証されることは，どんな人でも社会の一員として包み込む重要な施策であることは言うまでもありませんね。

Ｅ ：それはそのとおりだと思います。

先生：ですが，19 世紀において既に例えば J. S. ミルは教育が人々を画一化し得ることの危険性を指摘していました。そして，人々の個性が画一化され，多様な意見が生まれる素地が無くなることが，いかに社会の発展を阻害するものであるかを論じていたのです。

Ｅ ：うーん，その危惧は分かる気もします。でも先生，一方で教育そのものが必要なくなるわけではないですよね。全ての人を社会の一員として包み込むってやっぱり重要なんじゃないですか。

先生：鋭い指摘ですね。教育や福祉などによって人々を包摂し，そこに生きる全ての人々のニーズに応えることは，社会の重要な役割です。しかし人々のニーズは多様ですから，同じ方法で応えることはできません。無理にそうしようとすると，先に述べたような画一化を引き起こす。こうしたジレンマこそが，社会の現実だと言ってもいいでしょう。

Ｅ ：社会に生きるって，ジレンマの中を生きるってことか。大変ですね。

先生：でも，そのことを前向きに捉えることはできないでしょうか。ジレンマを抱えつつ，それと真摯に向き合い変化していくことは，多様な他者が共存しやすい，私たち自身にとっても生きやすい社会の条件になりますよ。というのも，自分も含め全ての人々の個別のニーズが無下に否定されず，それを考慮すべく努力する社会になるわけですから。

Ｅ ：だからこそ，「他者と共に」生きることの意味を絶えず問い直していくことが，私たちがより良い社会を作っていくためには必要なのですね。

① 社会はその成員を画一化する圧力を持つが，多様な他者と共に生きる中で生じる矛盾に向き合う努力に，それを越える契機もある。

② 社会は多様な他者が存在し共存する場であるので，その全ての成員を等しく包摂しようとする努力は必然的に人々の多様性を増大させる。

③ 社会は多様な人々が共存する場であり常に分裂や対立の危険を孕(はら)んでいるので，その成員の同質化を目指すことが必要である。

④ 社会は多数派の文化の下でその成員を均質化する傾向を不可避的に持つゆえに，私たちが他者と共に生きる困難を低減してくれる場となる。

第 4 問　高校生Ｆが倫理の授業で行った次の**発表**と，それを受けて高校生Ｇと交わした議論を読み，後の問い（**問 1 ～ 4**）に答えよ。なお，議論と問いのＦとＧは各々全て同じ人物である。（配点　14）

発表　「高齢者の孤立」

少子化と高齢化と過疎化が進み，一人暮らしの高齢者が増えています。行政や施設だけでなくⓐ社会全体で支える必要があります。私は，孤立する人を出さないことが重要だと思います。「ひきこもり」はⓑ若者の問題に留（とど）まらず，中高年の間でも増加しています。衛生・健康・金銭の管理ができず，支援を拒否して孤立する人もいます。自宅で一人きりで亡くなり，何日も発見されない人は，年間で約 3 万人も出ています。孤立する人を放置するのは，人間の尊厳を顧みない冷たい社会ではないでしょうか。生産人口の減少とともに福祉を担う人も不足しています。介護ロボットや情報通信技術を活用した独居高齢者の見守りの仕方も開発しなければなりません。私は将来，そのような研究をしたいと考えています。

Ｇ：**発表**を聞いて孤立の深刻さが分かりました。でも支援を拒否する人の中には，一人でいることが好きな人もいるんじゃないでしょうか。倫理の教科書にも，ⓒ孤高に思考せよと言う思想家が出ていたような気がしますね。

Ｆ：そうでしたか。具体的な名前は，今思い浮かびませんけど…。支援を拒否する人についてですが，中には遠慮する人や強がりを言う人もいます。一人でいたいという人も人間関係で問題を抱えている可能性があると思うんです。

Ｇ：そう決めつけるのはどうでしょうか。私の祖父は自然豊かな山村でほぼ自給自足で暮らしていて，一緒に住もうって言うと一人の方が気兼ねしないと言います。年配の人たちの一人暮らしの意味も色々だと思うんです。

Ｆ：でも，地域社会の人口が減少していて，体を壊したら孤立無援という人もいるでしょう。誰もが健康で文化的な生活を送れるようにしないと。

Ｇ：もし私が高齢者だったら，そんなの余計なお世話だと思うでしょうね。

問 1　下線部ⓐに関連して，次の**ア・イ**は，個人と社会の関係を論じた思想家についての説明であるが，それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 13

ア　個人は，家族や地域などのコミュニティと密接に関わっており，役割や責任を負荷された自己であり，共通善を追求するべきだと説いた。

イ　現代社会を生きる個人は，互いを知らない「孤独な群衆」であり，孤独感を和らげるために，周囲やマスコミの意見に同調すると説いた。

① **ア**　サンデル　　**イ**　リースマン
② **ア**　サンデル　　**イ**　リップマン
③ **ア**　ノージック　　**イ**　リースマン
④ **ア**　ノージック　　**イ**　リップマン
⑤ **ア**　サルトル　　**イ**　リースマン
⑥ **ア**　サルトル　　**イ**　リップマン

問 2　下線部ⓑに関連して，青年期の心理・社会的モラトリアムについての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 14

① 青年が，学生生活を送る過程において，無関心，無感動，無為，無気力で過ごしてしまう状態のことである。

② 青年が，失敗や挫折によって自信を喪失し，自分の未熟な面を気にし過ぎ，日常生活に支障を生じる状態のことである。

③ 青年が，修学も就業もせず，職業訓練も受けていないという，先進国に共通する社会現象で，社会的自立が困難な状態のことである。

④ 青年が，一人前の社会人としての役割を果たせるようになるために，社会的責任や義務を，猶予または一時的に免除されている状態のことである。

問 3　下線部ⓒに関連して，アーレントが孤高について書いた次の**資料**が授業で配付された。アーレントの思想と**資料**の内容の説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 15

資料　アーレント『精神の生活』より

実存的に見れば，思考することは独りぼっちの営みではなく，孤高の営みである。孤高性は，自分が自分を仲間としている人間的状況である。自分を「一者の中の二者」へと分けられず，自分を仲間とすることができないまま一人でいると独りぼっちになってしまう。……人が本質的に複数形で存在することを，おそらく何よりも雄弁に示すのは，孤高が……単なる自己意識を，思考する活動の間は二者性として現実化するということである。この「自分と自分との二者性」によって，思考は，私が問うものであると同時に答えるものでもあるような真の活動となる。

① 全体主義の発生の原因と形成過程を考察したアーレントは，**資料**では，孤高に思考することが，自分と同じ問題意識を持つ複数の多様な人々と共に問い，答えるという営みの中でのみ成立すると主張している。

② 人間の営みを労働・仕事・活動に区分したアーレントは，**資料**では，「自分と自分との二者性」は，自分自身を仲間として思考することのうちに現れ，そのとき人間は独りぼっちではなく孤高であると主張している。

③ ナチズムを生む社会的性格を心理学的に分析したアーレントは，**資料**では，真の思考は孤高の営みだが，独りぼっちにならないためには，問い，答えてくれる他人を模範とする二者性を維持するべきだと主張している。

④ 人間中心主義から離れて存在忘却を批判したアーレントは，**資料**では，人間の複数的なあり方が，思考することのうちに示されるとし，人間は問うと同時に答える者になるべきだと主張している。

問 4 次の会話は，134 ページの**発表**と議論の後にF，G，先生が交わしたものである。134 ページの**発表**と議論も踏まえて，会話中の［ **a** ］～［ **c** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。［ 16 ］

先生：二人の議論を聞いていて，孤立と孤独を区別できそうだと思いました。孤立は自ら望まずに集団から取り残されることですが，孤独は自ら望んで社会から一歩ひいた観点で物事を観想することだと。

F ：なるほど！　私が防ぎたいと思ったのは［ **a** ］だということですね。それが［ **b** ］も否定しているとGさんは受け取ったのでしょうか。

G ：そう思いました。多分，私は青年期の［ **b** ］が思考の深まりと成長につながると習ったのを，高齢者に重ねていたのかもしれません。実際，年長者は豊富な人生経験や知恵を持っていると思うんです。でも，ちょっとしたきっかけで［ **a** ］に変わるのかもしれませんね。

F ：例えば怪我（けが）をして出歩かなくなって体力が落ちたり，人と話さないので認知能力が低下したり…。特に独居高齢者には，話を聴きに行くなどして継続的に見守ることが必要だと思います。

G ：ただ，それが監視になってしまうと，自立した人間として生きているという気持ちを尊重しない一方的な支援になると思うんですよ。

F ：そうですね。でも，独居生活が困難なのに放置するのは，人間としての尊厳を損なうことになりますよね。いざというときのために見守ってもらっていると思うからこそ，安心して一人でいられるのでは？

G ：なるほど，地域の信頼できる人が時々訪問する程度の，付かず離れずの継続的な見守りなら，監視にならないですね。

F ：私は，**発表**では高齢者を一人にしないことばかり考えていましたけど，Gさんと話して，［ **c** ］ことが大切だと分かりました。支援が必要かどうかを見極めるためにも，孤立と孤独の区別は役立ちそうですね。

先生：今までの倫理の授業で出てきた，孤独に真理を探究する思想家と，孤立する他者への慈愛を説く思想家の両方が参考になりますね。

① **a**　孤　独

b　孤　立

c　高齢者が周囲の人々と信頼関係を築き，一人でいたいという意思も尊重されながら，安心して自立的に生活できる環境が整っている

② **a**　孤　独

b　孤　立

c　一人でいたいという高齢者の意思を尊重するが，それが遠慮や強がりではないかを見極めつつ，心身の状態が悪化したら支援する

③ **a**　孤　独

b　孤　立

c　高齢者が自分なりの生き方を尊重された上で，自分ではどうしようもない状況に陥ってしまったときには，支援が得られるような環境がある

④ **a**　孤　立

b　孤　独

c　一人で生活している高齢者が困っているとは限らないし，手助けが必要かどうかは周囲の人より本人の方が分かるので，本人の意向に任せる

⑤ **a**　孤　立

b　孤　独

c　高齢者の話に時々耳を傾け，信頼関係を築き，一人でいたいという意思を尊重しながら，独居生活が尊厳を損なう状態になったら支援する

⑥ **a**　孤　立

b　孤　独

c　一人で生きようとしている高齢者の尊厳を保つため，地域の人々による訪問をやめて，気付かれないように見守りのための機器を設置する

倫理，政治・経済

第 5 問　生徒**X**，生徒**Y**，生徒**Z**は，「政治・経済」の授業で「現代の法をめぐる課題」をテーマとして，発表することになった。話し合った結果，最初に全員で法の役割について考えた後に，人権保障の課題，司法制度の課題，議会制度の課題という三つのパートに分かれて，それぞれ関心のある事柄を深めることにした。次のノートは，発表の概要と担当についてまとめたものである。これに関して，後の問い(**問 1** ～ **6**)に答えよ。(配点　19)

発表テーマ：現代の法をめぐる課題

○　はじめに
- ⓐ法の役割について考える

○　人権保障の課題(**X** が担当)
- ⓑ基本的人権の保障は，どのように形成されたか
- どのようにして法の下の平等を確保すればよいか
  －ⓒ障害者やⓓ外国人を取り上げて考える

○　司法制度の課題(**Y** が担当)
- ⓔ司法制度改革によって，どのように司法は変わったのか
- 司法制度の今後を考える
  －裁判員制度や死刑制度を取り上げて考える

○　議会制度の課題(**Z** が担当)
- 国会は，社会の変化にどのように対応しているか
  －農業やⓕ労働に関する法改正を取り上げて考える
- どのようにして選挙における投票率を高めるか

問 1　下線部ⓐに関連して，生徒**X**，生徒**Y**，生徒**Z**は，発表の準備として，日本の社会において，さまざまな規範が働いている事例をもち寄って，法の役割を考えることにした。次の①～④の事例における人物**J**，人物**K**，人物**L**，人物**M**が行った行為とその結果に注目したとき，「社会秩序を維持するために国家が設定した社会規範」としての法を，国家が直接に強制しているといえる事例はどれか。最も適当なものを，①～④のうちから一つ選べ。 17

① ある法律の規定によれば，消費者は，事業者から提供された情報を活用して，事業者と結ぶ契約の内容を理解するよう努める義務がある。ある会社と契約を結んだ**J**は，契約締結時に契約の条件を十分に確認しなかった。**J**は，家族からこのことを注意された。

② ある法律の規定によれば，他人の財産を盗んだ者に対しては，懲役や罰金の刑罰が科される。傘を持たずに外出した**K**は，にわか雨が降ってきたため，たまたま通りかかった店舗の商品である傘を持ち去った。**K**は，後に，傘を盗んだとして起訴され罰金刑を科された。

③ あるSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を運営する事業者の会員規約によれば，他人の名誉を傷つけ，差別発言をした会員のアカウントは，削除される。このSNSの会員の**L**は，友人を誹謗(ひぼう)中傷する書込みを行った。**L**は，後に，会員規約に従って事業者にアカウントを削除された。

④ ある学校の部活動の決まりによれば，部員は指定された集合時刻の10分前には集合場所に集まらなければならない。この部活動の部員の**M**は，指定された集合時刻の5分前に集合場所に到着した。**M**は，ほかの部員からこのことを注意された。

問 2　生徒Xは，下線部ⓑの歴史を調べた。次の記述 a ～ d はそれぞれ，アメリカ独立宣言，児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)，フランス人権宣言(人および市民の権利宣言)，ワイマール憲法の一節のうちのいずれかである(なお，和訳の一部表記を改めた箇所やふりがなを振った箇所がある)。これらの記述を成立した年の古いものから順に並べたとき，**3番目**にくるものとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 18

a　人は，自由，かつ，権利において平等なものとして生まれ，生存する。社会的区別は，共同の利益に基づくものでなければ，設けられない。

b　いかなる児童も，その私生活，家族，住居もしくは通信に対して恣意(しい)的にもしくは不法に干渉されまたは名誉および信用を不法に攻撃されない。

c　経済生活の秩序は，すべての人に，人たるに値する生存を保障することをめざす正義の諸原則に適合するものでなければならない。

d　すべての人は平等に造(つく)られ，造物主によって一定の奪うことのできない権利を与えられ，その中には生命，自由および幸福の追求が含まれる。

① a
② b
③ c
④ d

問 3　下線部Ⓒに関連して，生徒**X**は，日本における障害者の権利について生徒**Y**と議論している。次の**会話文**中の空欄［ア］には後の記述**a**か**b**，空欄［イ］には後の記述**c**か**d**のいずれかが当てはまる。空欄［ア］・［イ］に当てはまるものの組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［19］

X：障害を理由とした不利益な取扱いを禁止するだけで，障害者への平等を保障できるかな。［ア］という考え方によれば，より一層の機会を障害者に提供していく必要があるね。

Y：そうだね。それに，障害者への差別を解消するには，障害者がさまざまな場面で感じている不自由にも対応する必要があるよ。多くの社会制度や慣行が，障害のない者を前提にしているからね。

X：だから，障害者基本法は，それぞれの障害者が有する障害の特性に応じた配慮をして，障害者が日常生活や社会生活を送るときに障壁となるものを除去することを求めているよ。

Y：それが合理的配慮だといわれていて，その具体例としては，［イ］があるね。合理的配慮は，すべての人が障害の有無にかかわりなく共生する社会を作る上で大切なものといえるね。

［ア］に当てはまる記述

a　すべての人々を属性によらず画一的に扱って形式的平等を確保する

b　人々の間にある格差の是正を積極的に図って実質的平等を確保する

［イ］に当てはまる記述

c　職場における構成員の多様性を確保して活力のある職場を作るために，障害者を積極的に採用すること

d　周囲の物音に敏感で気が散って集中できないという障害のある人について，職場において静かな環境で作業に従事できるようにすること

① ア― a　イ― c　　② ア― a　イ― d

③ ア― b　イ― c　　④ ア― b　イ― d

問 4 下線部ⓓに関連して，生徒**X**は，次の**資料**の最高裁判所判決(最高裁判所民事判例集 49 巻 2 号)を調べた。**資料**から読みとれる記述として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 20

> 「憲法 93 条 2 項にいう『住民』とは，地方公共団体の区域内に住所を有する日本国民を意味するものと解するのが相当であ」る。「憲法 93 条 2 項は，我が国に在留する外国人に対して地方公共団体における選挙の権利を保障したものとはいえないが，憲法第 8 章の地方自治に関する規定は，民主主義社会における地方自治の重要性に鑑み，住民の日常生活に密接な関連を有する公共的事務は，その地方の住民の意思に基づきその区域の地方公共団体が処理するという政治形態を憲法上の制度として保障しようとする趣旨に出たものと解されるから，我が国に在留する外国人のうちでも永住者等であってその居住する区域の地方公共団体と特段に緊密な関係を持つに至ったと認められるものについて，…(中略)…，法律をもって，地方公共団体の長，その議会の議員等に対する選挙権を付与する措置を講ずることは，憲法上禁止されているものではないと解するのが相当である。」

① 憲法第 93 条第 2 項にいう住民には日本に在留する外国人も含まれるので，地方公共団体と特段に緊密な関係にある永住者等であれば，国会は法律で外国人に対して地方公共団体における選挙権を与えることができる。

② 憲法第 93 条第 2 項にいう住民には日本に在留する外国人は含まれないので，地方公共団体と特段に緊密な関係にある永住者等であっても，国会は法律で外国人に対して地方公共団体における選挙権を与えることができない。

③ 憲法第 93 条第 2 項にいう住民には日本に在留する外国人も含まれるが，地方公共団体と特段に緊密な関係にある永住者等であっても，国会は法律で外国人に対して地方公共団体における選挙権を与えることができない。

④ 憲法第 93 条第 2 項にいう住民には日本に在留する外国人は含まれないが，地方公共団体と特段に緊密な関係にある永住者等であれば，国会は法律で外国人に対して地方公共団体における選挙権を与えることができる。

問 5　生徒**Y**は，日本において下線部ⓔが推進される中で設けられたさまざまな仕組みについて調べた。これらの仕組みに関する記述として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 21

① 法テラス（日本司法支援センター）では，司法に関する情報提供や法律相談を受けることができる。

② 被害者参加制度では，犯罪被害者やその家族が刑事裁判に裁判員として参加することができる。

③ 一定の事件における被疑者の取調べでは，録音・録画による記録が義務づけられている。

④ 知的財産高等裁判所では，特許権などの知的財産権（知的所有権）に関する訴訟が専門に扱われている。

問 6 下線部ⓕに関連して，生徒**Z**は，日本における労働に関する法改正とその背景を整理した。次の記述**ア**～**ウ**は，2010 年以降に行われた労働に関する法改正の内容である。また，後の記述 **a** ～ **c** は，それぞれこれらの法改正の背景となった事情である。記述**ア**～**ウ**と記述 **a** ～ **c** との組合せとして最も適当なものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 22

ア 労働者が子の出生後 8 週間以内の時期に最大 4 週間の長さで取得できる（2 回に分割することもできる），出生時育児休業の仕組みが導入された。

イ 期間の定めのある労働契約が所定の期間を超えて更新されたとき，労働者の側で期間の定めのない労働契約に転換できる制度が導入された。

ウ 法定時間外労働の時間数について，使用者に対する罰則付きの上限規制が導入された。

a 有期契約を締結している労働者のうち，同一の使用者の下での勤続年数が 5 年を超えている労働者が約 30 % となっており，約 360 万人の労働者が有期契約を複数回にわたって更新していた。

b パートタイム労働者を除いた労働者について，年間の実際の労働時間が過去 20 年ほど 2,000 時間程度を維持したまま減少しておらず，過労死や過労自殺に対する対策が求められていた。

c ある権利について男性と女性とで権利行使の状況に大きな差が生じており，女性が権利行使した割合が 80 % を超えていたのに対して，男性が権利行使した割合は 10 % を下回っていた。

①	ア — a	イ — b	ウ — c	②	ア — a	イ — c	ウ — b
③	ア — b	イ — a	ウ — c	④	ア — b	イ — c	ウ — a
⑤	ア — c	イ — a	ウ — b	⑥	ア — c	イ — b	ウ — a

倫理，政治・経済

第 6 問　次のノートは，生徒**X**が，生徒**Y**と一緒に「政治・経済」の授業を振り返りながら，学習したことをまとめたものの一部である。これに関して，後の問い(**問 1 ～ 6**)に答えよ。(配点　19)

> ○ある国のⓐ経済が発展する過程で，企業がⓑ政府の政策的な支援を受けることがある。
> ○政府の財政基盤は，個人や法人の所得に課される税金，財・サービスなどを購入した場合に課される税金，ⓒ貿易に課される税金，ⓓ公債金などである。政府はそれらを使って，経済活動の活性化や個人間・地域間の経済格差の是正に努めている。
> ○ⓔ公共財やⓕ公共サービスを供給することも，政府の重要な活動である。

問 1　下線部ⓐに関連して，生徒**X**は，ある経済学者の学説について調べて，次の**メモ**を作成した。**メモ**中の空欄［ ア ］・［ イ ］に当てはまる人名と語句との組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 23 ］

> 発展途上国が経済成長を実現するには，経済学者［ ア ］の著書『経済学の国民的体系』の中の主張の一つである［ イ ］といった政策も必要ではないか。

① **ア**　リスト　　**イ**　幼稚産業の保護
② **ア**　リスト　　**イ**　イノベーションの促進
③ **ア**　シュンペーター　　**イ**　幼稚産業の保護
④ **ア**　シュンペーター　　**イ**　イノベーションの促進

問 2 下線部ⓑに関連して，生徒**Y**は，日本の農業の動向が気になり，日本の農業について学習を進めた。日本の農業の現状あるいは農業政策の現状に関する次の記述 **a** ～ **c** のうち，正しいものはどれか。当てはまるものをすべて選び，その組合せとして最も適当なものを，後の①～⑦のうちから一つ選べ。 24

a 農地が荒廃し，耕作放棄地が増加している。この対策の一つとして，農作物の生産拡大を図るため，2000 年以降，食糧管理制度の導入により米以外の作物の生産が奨励され，農業所得の拡大が図られている。

b 農業就業者の後継者不足と高齢化の深刻さが増している。この対策の一つとして，若い後継者を確保するためにも，農作物のブランド化や生産・加工・販売までの一体化による高付加価値化が進められている。

c 食料自給率の低迷や食品の偽装表示などにより，食料の確保と安全が脅かされている。この対策の一つとして，食料安全保障の観点から，農産物の関税撤廃により海外農産物の輸入制限の強化が図られている。

① **a**　② **b**　③ **c**
④ **a** と **b**　⑤ **a** と **c**　⑥ **b** と **c**
⑦ **a** と **b** と **c**

問 3 下線部ⓒに関連して，生徒**X**は，海外で模造（コピー）された日本のアニメ作品のキャラクター商品に対する国内販売差止めのニュースに関心をもち，関連する多角的貿易交渉（ラウンド）について調べた。知的財産権の保護が主な交渉内容となり，また WTO（世界貿易機関）の設立が合意されたラウンドの名称として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 25

① ドーハ・ラウンド　② 東京ラウンド
③ ウルグアイ・ラウンド　④ ケネディ・ラウンド

問 4 下線部④に関連して，生徒**Y**は，授業で紹介された次の**資料**をもとに，社会保障の費用とその財源について学んだ。また，授業では，政府が基礎的財政収支(プライマリーバランス)の黒字化を目標にしていることも言及された。国の一般会計予算における社会保障の費用の増加額について**資料**から読みとれる内容として正しいものを後の記述**ア**か**イ**，基礎的財政収支の黒字の状態を示した図として正しいものを後の**図 a** か**図 b** から選び，その組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 26

資料

国の一般会計予算の比較(単位：兆円)

歳　入	租税及び印紙収入		公債金	その他
	消費税	所得税等		
平成 2 (1990)年度	5.3	51.1	5.6	4.3
令和 2 (2020)年度	21.7	41.8	32.6	6.6

歳　出	国債費	地方交付税 交付金等	社会保障	公共事業， 教育，防衛など
平成 2 (1990)年度	14.3	15.3	11.6	25.1
令和 2 (2020)年度	23.4	15.8	35.9	27.6

(出所)　財務省 Web ページにより作成。

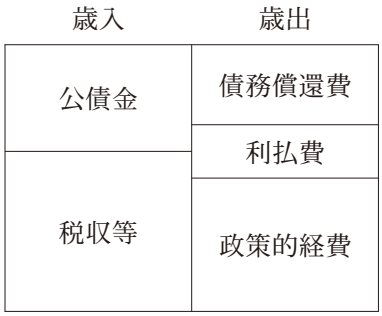
ア　社会保障の費用の増加額は，消費税の増加額よりも大きい。

イ　社会保障の費用の増加額は，消費税の増加額よりも小さい。

図 a



図 b



（注） **図 a**，**図 b** ともに，政策的経費とは，社会保障や公共事業をはじめさまざまな行政サービスを提供するための経費などである。

① **ア**と**図 a**

② **ア**と**図 b**

③ **イ**と**図 a**

④ **イ**と**図 b**

問 5　下線部ⓔについて，生徒**X**は，社会環境が変われば公共財の状態も変化するのではないかと考え，次の事例**ア**～**ウ**を想定した。これらの事例のうち，公共財としての公園が非排除性と非競合性の両方の性質を保つことができている事例として正しいものはどれか。当てはまるものをすべて選び，その組合せとして最も適当なものを，後の①～⑦のうちから一つ選べ。 27

ア　地方自治体が管理し市民が無料で利用していた公園の近くに，企業がテーマパークを作った。それ以降，公園は地方自治体が管理しつつ誰も利用しない状態になった。

イ　地方自治体が管理し市民が無料で利用していた公園を，企業が社会貢献の一環として管理する状況になった。それ以降，地方自治体が管理していた時と同じ利用方法のままで企業の管理が続いた。

ウ　地方自治体が管理する公園を市民に無料で開放していたが，多くの人が利用して公園内に荒れ地が目立つようになった。それ以降，地方自治体が公園への入場料金を徴収し管理するようになった。

① **ア**
② **イ**
③ **ウ**
④ **ア**と**イ**
⑤ **ア**と**ウ**
⑥ **イ**と**ウ**
⑦ **ア**と**イ**と**ウ**

問 6　下線部ⓕに関連して，生徒**X**と生徒**Y**は，多様化する行政へのニーズに対応するため，企業と同様に行政もリストラクチャリング(事業の再構築)が必要と考え，地方自治体のアウトソーシング(業務の外部委託)の例を示そうとした。地方自治体が新たにアウトソーシングをしたと考えられる例として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 28

① 地域経済の活性化のため，地方自治体が企業に雇用拡大の要請を行っていた。それに関連して，地方自治体が採用意欲のある企業の人事担当者に出席を求めて求職者相談会を催した。

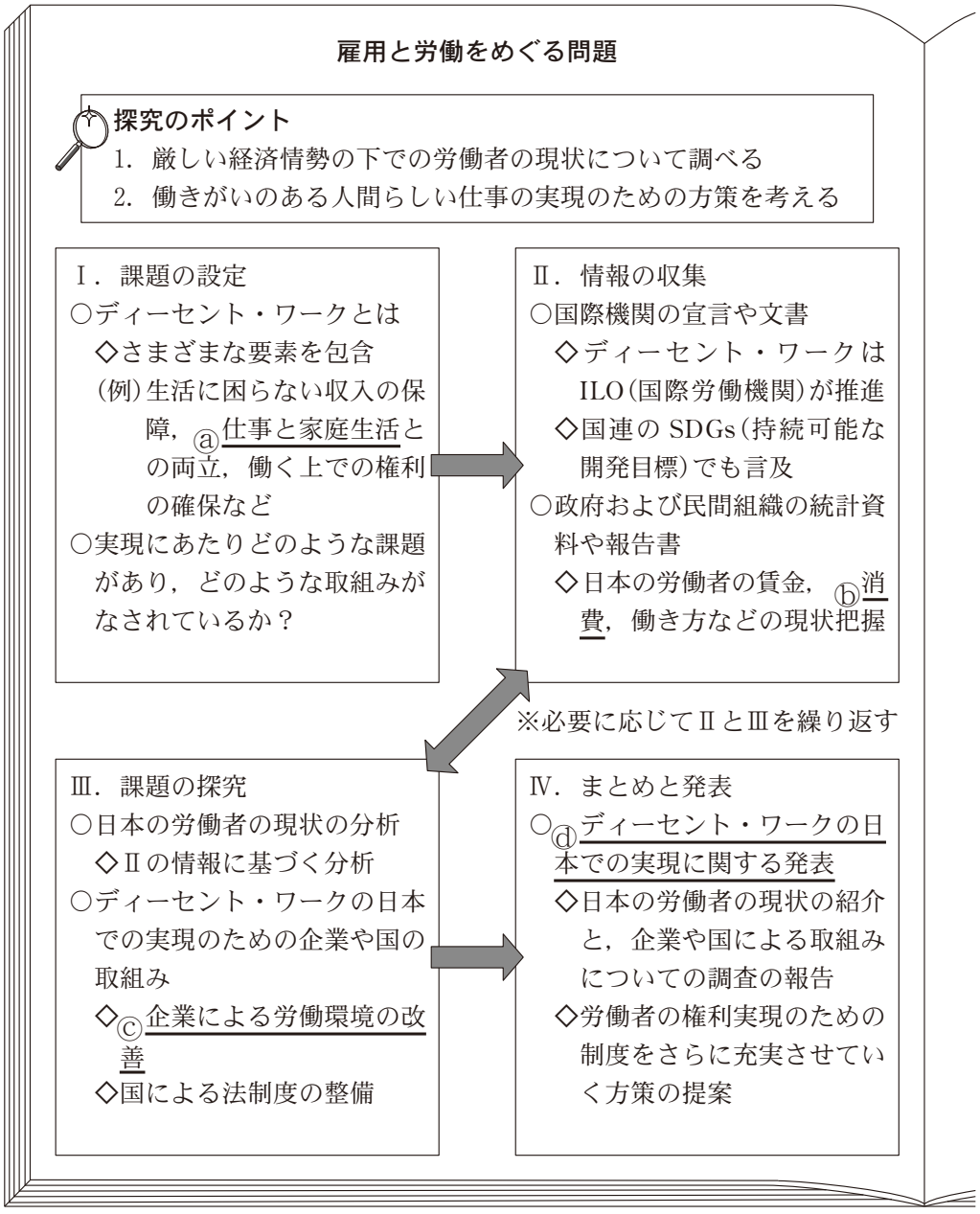
② 自然環境整備のため，地方自治体が地元企業と協力して植林事業を行っていた。それに関連して，間伐材を活用した地場産業の新商品の開発を行う部署を地方自治体内に新設した。

③ 住環境整備のため，地方自治体が特定地域にマンションを建設する事業者に助成金を出していた。それに関連して，他の地域のマンションの建設にも助成金を出すことになった。

④ 国際化の推進のため，地方自治体が国際交流センターを建設し自治体の職員が管理していた。それに関連して，公共施設運営の効率化に向けて同センターの管理を民間企業が請け負うことになった。

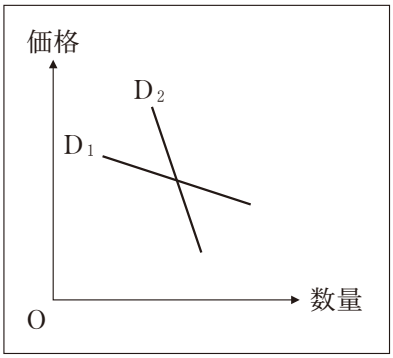
倫理，政治・経済

第７問　生徒**X**と生徒**Y**は，「ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の日本での実現」について探究を行い，クラスで発表することとなった。**X**と**Y**は，調査発表計画を話し合い，その手順を次のようにノートにまとめた。これに関して，後の問い（**問１**～**４**）に答えよ。（配点　12）



問 1　下線部ⓐに関連して，生徒**X**は，ディーセント・ワークの実現のための一つの視点として，消費の面から家庭生活について考えることにした。**X**は，余暇時間と労働から得られる所得とが消費行動に与える影響について，身近な映画館のケースを需要の価格弾力性の分析に当てはめて考え，次の**メモ**を作成した。**メモ**中の**図**は異なる二本の需要曲線（D_1 と D_2）を描いたものである。**メモ**中の空欄［ア］～［ウ］に当てはまる記号と語句との組合せとして正しいものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。［29］

図中の D_1 と D_2 を比較すると，需要の価格弾力性が高いのは［ア］である。なぜなら，同じ価格の下での価格の変化に対する数量（需要量）の変化がもう一方と比較して［イ］からである。



D_1 と D_2 を異なる集団の人たちの需要曲線と考えてみる。たとえば，高校生と社会人という異なる二つの集団の需要曲線がそれぞれ D_1 と D_2 のいずれかとする。

高校生は，社会人に比べて自由に使えるお金が少なく，自由に使える時間が多いと仮定する。映画館の料金では，学生割引が設定されている場合がある。映画館は高校生の需要曲線が［ウ］であると想定し，入館者と収益の増加を期待していると考えることができる。

① ア — D_1　イ — 大きい　ウ — D_1　② ア — D_1　イ — 大きい　ウ — D_2
③ ア — D_1　イ — 小さい　ウ — D_1　④ ア — D_1　イ — 小さい　ウ — D_2
⑤ ア — D_2　イ — 大きい　ウ — D_1　⑥ ア — D_2　イ — 大きい　ウ — D_2
⑦ ア — D_2　イ — 小さい　ウ — D_1　⑧ ア — D_2　イ — 小さい　ウ — D_2

問 2　下線部ⓑに関連して，生徒**Y**は，所得と消費の関係に注目し，この関係について整理するために，家計に関する政府統計のデータを調べた。その際に，可処分所得の増加に伴って平均消費性向が低下する傾向にあることを知った。**Y**は，この傾向と所得格差が消費にどのような影響を与えるかについて考察するために，次の**表**のようなモデルケースを考え，後の**メモ**を作成した。**メモ**中の空欄［ア］には後の記述**a**か**b**，空欄［イ］には後の記述**c**～**e**のいずれかが当てはまる。空欄［ア］・［イ］に当てはまるものの組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。［30］

表

		個人 1	個人 2	個人 3	個人 4	個人 5	合　計
ケース **A**	可処分所得（万円／月）	50	50	50	50	50	250
	平均消費性向	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	
ケース **B**	可処分所得（万円／月）	20	40	50	60	80	250
	平均消費性向	0.9	0.8	0.7	0.6	0.5	

メモ

○消費支出は，可処分所得から行われる。各個人の直接税や社会保険料といった支出は消費支出に［ア］。

○可処分所得に占める消費支出の割合を平均消費性向という。5 人の可処分所得がすべて等しい場合（ケース**A**）と，異なる場合（ケース**B**）とを比較する。それぞれのケースの消費支出は，**表**の可処分所得と平均消費性向から算出され，その合計額は［イ］。

［ア］に当てはまる記述

a　含まれる

b　含まれない

［イ］に当てはまる記述

c　ケース**A**の方がケース**B**よりも大きい

d　ケース**A**の方がケース**B**よりも小さい

e　ケース**A**とケース**B**で等しい

①　ア―**a**　イ―**c**　　②　ア―**a**　イ―**d**　　③　ア―**a**　イ―**e**

④　ア―**b**　イ―**c**　　⑤　ア―**b**　イ―**d**　　⑥　ア―**b**　イ―**e**

問 3　下線部ⓒについて，生徒**X**と生徒**Y**は，ある企業の人事担当者に聞き取り調査を行い，その結果を次の**メモ**にまとめた。後の語句**a**～**c**のうち，**メモ**の内容から読みとれる，この企業が取り入れている仕組みとして正しいものはどれか。当てはまるものをすべて選び，その組合せとして最も適当なものを，後の①～⑦のうちから一つ選べ。［31］

労働環境改善の取組みに関する聞き取り調査　2022年8月23日	
1. 育児や介護などを行う従業員を対象に在宅勤務制度を導入 ・Web会議システムを活用 ・専用のソフトウェアを利用して勤務状況を記録	3. 従業員が出社と退社の時刻を一定の時間帯の中で自由に決められるようにする制度を導入 ・さらにコアタイム(必ず出勤していなければならない時間帯)を縮小
2. 残業体質からの脱却と休み方の改善 ・残業時間に上限を設定 ・朝食を無料提供し朝型勤務を促進 ・有給休暇の積極的な取得を推奨	4. 従業員の意識向上のための取組み ・ハラスメント防止講習の実施 ・従業員の相談窓口の設置 5. 労働環境改善の制度を提案するプロジェクトチームを組織

a　フレックスタイム制

b　テレワーク

c　高度プロフェッショナル制度

①　**a**　　②　**b**　　③　**c**

④　**a**と**b**　　⑤　**a**と**c**　　⑥　**b**と**c**　　⑦　**a**と**b**と**c**

問 4　下線部ⓓについて，次の**発表原稿**は生徒**X**と生徒**Y**がクラスで発表する内容の一部であり，後の**図**は発表で使用するものである。**発表原稿**中の空欄［ア］～［ウ］に当てはまるものとして正しいものを，それぞれ**図**中の**a**～**c**から一つずつ選び，その組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。［32］

発表原稿

ここまでの発表では，日本の労働者の賃金や消費，働き方の現状を紹介してきました。そして，現状の改善のための政府や企業による取組みについて，私たちが調査したことを報告しました。国や企業の側による取組みだけでなく，労働者の側が自ら権利実現のために制度を活用することも重要です。

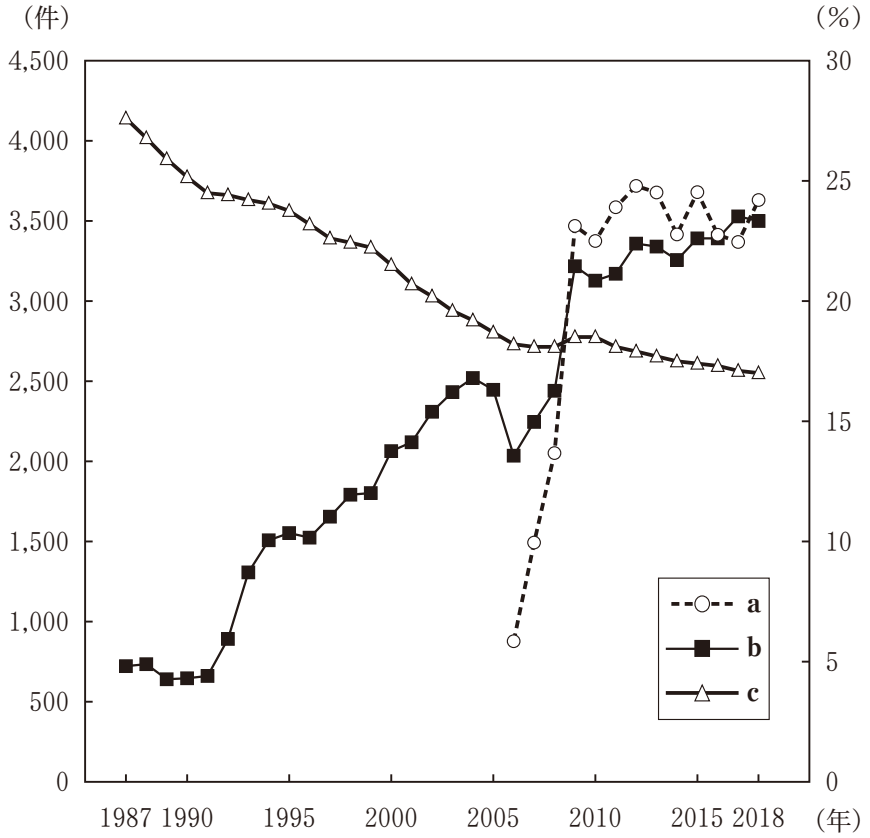
労働者の権利実現に従来から大きな役割を果たしてきた組織として，労働組合があります。**図**中の［ア］は，労働組合の組織率を表したものです。労働組合は，労働条件の改善や賃金の引上げなどを求めて企業と交渉を行い，交渉がまとまらないときにはストライキを行うこともあります。

こうした労働組合と企業との間に生じる労働争議は，集団的労働関係紛争とも呼ばれます。それに対して，労働者個々人と企業との間の紛争は，個別的労働関係紛争と呼ばれます。そのような紛争を解決する機関の一つとして裁判所があります。裁判所では，民事訴訟や労働審判によって，個別的労働関係紛争を扱っています。**図**中の［イ］は労働関係の民事訴訟の件数の推移，［ウ］は労働審判の件数の推移を表しています。とくに，リーマン・ショック後の時期に，これらの件数が急増しています。この理由としては，経済情勢の悪化だけでなく，労働者の権利意識の向上や職場の雇用形態の多様化が指摘されることがあります。

これら以外にも紛争解決のためのさまざまな制度が作られています。たとえば，行政の機関による相談や斡旋（あっせん）などの制度があります。

以上のような多様な制度をさらに利用しやすくしていくことが，ディーセント・ワークの実現につながるのではないかと思います。

図



（注）　**図**中の**a**の2006年の値は4月～12月のものである。労働組合の組織率は推定組織率（雇用者数に占める労働組合員数の割合），労働関係の民事訴訟や労働審判の件数は地方裁判所での新受件数（その年に新たに受け付けた件数）である。

（出所）　独立行政法人労働政策研究・研修機構Webページにより作成。

① ア―a　イ―b　ウ―c　　② ア―a　イ―c　ウ―b

③ ア―b　イ―a　ウ―c　　④ ア―b　イ―c　ウ―a

⑤ ア―c　イ―a　ウ―b　　⑥ ア―c　イ―b　ウ―a